

# 高等学校家庭基礎「消費生活」指導計画

資料1-1

内容	題材	学習のねらい	時間の 目安	評価規準				学習項目
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	下線項目は、他の内容と関連して学習できるもの
消費生活	1現在の消費社会の特徴	消費生活の多様化・複雑化について知る。	1		・消費者を取り巻く状況について考え、まとめたり、発表したりしている。			・ <b>大量消費社会</b>
	2経済の仕組みと家計	家計の循環について知る。				・家庭経済と国民経済の関わりや家計管理の重要性について理解している。	・給与 ・家計の収支 ・国民経済の流れ	
	3経済計画と家計管理	リスク管理を含めた家庭の長期的な経済計画を立てることができる。	1		・人生における経済計画を立て、リスク管理について考え、工夫している。	・生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。	・ <b>過去未来に自分にかかっている費用</b> ・ <b>生涯ライフプラン</b> ・ <b>一人暮らしの費用</b>	
	4消費行動と意思決定	消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを知る。	4	・消費行動における意思決定の重要性について考えようとしている。	・消費における問題について主体的に考え、適切な判断をしている。	・消費生活に関する情報を収集、整理することができる。	・消費行動における意思決定の重要性について知識を身に付けている。	・クレジット ・ローン ・消費者信用 ・多重債務 ・自己破産 ・契約の仕組み ・消費者契約法 ・クーリング・オフ ・特定継続的役務提供 ・PL法 ・消費者被害 ・悪質商法 ・架空請求 ・国民生活センター ・消費者基本法 ・携帯・ネットトラブル
	5グローバル化・情報化と消費	消費者問題の現状について理解し、その対応について考える。	2	・自らの消費行動が社会や環境へどういった影響を与えているかに関心を持ち、責任ある行動をとろうとしている。	・消費行動と、環境の関わりについて考え、工夫している。			・ <b>情報リテラシー</b> ・ <b>生活情報の適切な活用</b> ・ <b>消費者の権利と責務</b> ・ <b>フェアトレード</b>
	6消費者市民社会を目指して	環境に配慮した消費生活について考え、行動する力を付ける。	1		・持続可能な社会を作るための消費行動について考え、工夫している。	・環境に配慮した消費行動に必要な情報を収集、整理することができる。		・ <b>消費者行動の社会への影響</b>

高等学校家庭基礎「消費生活」と関連して学習できる他の内容の指導計画

資料1-2

内容	題材	学習のねらい	時間の目安	評価規準			関連をもたせた「消費生活」の学習項目	
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能		知識・理解
青年期の自立と家族・家庭	1 青年期の今をみつめる	青年期の課題を理解し、自立に向けての目的意識を持つ。	1	・生涯発達の考えに立ち、各ライフステージの特徴と課題に関心をもち、青年期の課題に積極的に取り組もうとしている。	・多様な人々の生き方、家族やパートナーシップの在り方について考え、まとめたり、発表したりしている。			
	2 家族形態の変化	現在の家族の特徴について理解し、家族と社会との関わりについて関心をもち。	2				・青年期の課題や現代家族の特徴、家庭機能の変化、家庭生活と社会との関わりについて理解している。	
	3 家族に関わる法律	家族・家庭に関する法律を理解し、制度としての家族について考える。	2			・将来の生活を想定し、各ライフステージに合った情報を収集、整理することができる。		
	4 ライフコースの多様化とワークライフバランス	多様な生き方を認め合う。リスク管理の重要性を理解する。					・生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。	・過去未来に自分にかかっている費用
	5 生涯を見通した生き方	各ライフステージにおける生活課題を知り、将来の生活に展望をもち。	3	生活に関する意思決定能力	・人生における経済計画を立て、リスク管理について考え、工夫している。 ・自立の意味を理解し、自分の人生や進路について考えを深めたり、互いの考えを発表したりしている。	生活に関する意思決定能力		・生涯ライフプラン
食事と健康	1 食生活について考える	現在の食生活を分析し、自らの食生活について多面的に考える。	1		・現在の食生活と食事の意義について考え、工夫している。			
	2 体に必要な栄養と食品	健康的な食生活を営むための食品の摂取基準を知る。	2			・食品成分表を生かして栄養計算をすることができる。		
	3 栄養・栄養素と食品	栄養素の種類と機能を理解し、食品を組み合わせることで摂取することの大切さを考える。	4	・食生活の改善・向上に努めようとしている。	・栄養と健康的な食生活の関わりについて考え、工夫している。		・食事と健康の関わりについて理解している。	
	4 食生活の安全と衛生	食の安全性について理解し、問題意識を持つ。	1	・食品表示に興味をもち、主体的で責任のある消費行動をとろうとしている。	生活問題に対する批判的能力	・食に関する情報を収集、整理することができる。	・情報リテラシー ・生活情報の適切な活用	
	5 食生活の設計	健康的な食生活を営むための家族の食事について考える。	2		・食事摂取基準や食品群別摂取量を参考に、家族の献立を考え、工夫している。		・健康を維持するだけでなく、食文化の伝承や、家族の団らんなど、食事のもつ意味を理解している。	
	6 日常食の調理	基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。	3	・グループで、協力して調理しようとしている。	・効率のよい調理過程を考え、工夫している。	・日常食を作ることができる。	・食品の調理上の特性を理解している。	
	7 これからの食生活	食生活の変化や問題点を知り、環境との関わりや食糧自給率の問題を考える。消費者市民社会の実現に向けて。	3	・自らの消費行動が社会や環境へどういった影響を与えているかに関心をもち、責任ある行動をとろうとしている。	・食品の購入から廃棄、環境との関わりなど、持続可能な食生活について考え、工夫している。	生活問題に対する批判的能力	・大量消費社会 ・消費者行動の社会への影響 ・消費者の権利と責務 ・フェアトレード	
被服管理と着装	1 被服の役割	被服の機能と衣文化の背景を理解し、着装の工夫を探る。	1	生活問題解決のための実践的能力		・TPOに合わせた被服を着用することができる。	・被服を着る意味や被服の役割について理解している。	
	2 被服の購入	被服材料の特徴を理解し、取り扱い絵表示などの意味がわかる。	3	生活問題解決のための実践的能力	・着心地や性能について考え、目的に合った被服を選択している。		・被服の表示から、素材やサイズ、品質を読み取る知識を身に付けている。	
	3 被服の管理	被服に適した洗濯や管理方法を知る。	2	・衛生的な衣生活について考えようとしている。				
	4 衣生活と環境	環境負荷の少ない購入・消費について問題意識を持つ。	2	・次世代に引き継げる衣生活のあり方について、自分たちができることに関心をもち取り組もうとしている。	・衣服の購入から廃棄までを、環境と関連させて考え、工夫している。	生活に関する意思決定能力	・大量消費社会 ・消費者の権利と責務 ・フェアトレード ・消費者行動の社会への影響	
住居と住環境	1 心地良い住まい	気候風土、ライフスタイル・ライフステージと住まいとの関わりを探る。	1	・先人の知恵を生かした快適な住生活や、生き方との関わりについて考えようとしている。				
	2 住まいの間取り	平面図の基礎的知識を学び、平面図から空間や生活を読み取ることができる。	2			・住人の生活に配慮した住設計ができる。	・住環境を整備するために必要な平面図を読み取る知識を身に付けている。	
	3 健康で安全な住まい	快適な室内環境についての知識を身に付け、健康な住まいについて考える。安全な住まいの必要性を理解し、安全に配慮した住まいについて考える。	2	・住生活を安全で快適なものにしようとしている。	・健康で安全な住環境について考えを深め、ライフステージ別の問題点を考え、まとめようとしている。	生活に関する意思決定能力		
	4 住生活の計画	住まい選択と家計計画について考える。	2		・住生活について、ライフスタイルとの関わりを考え、適切な判断をしている。		・家計管理の大切さを理解し、消費行動における適切な意思決定を行うための知識を身に付けている。	・一人暮らしの費用
	5 環境に配慮した住まい・住み方	環境に配慮した住まい・住み方について理解する。	2				・グリーンコンシューマーの視点から、住環境や住生活の課題を認識し、それに対応する知識を身に付けている。	
	6 これからの住生活	地域社会とのつながりの重要性を理解し、持続可能な住生活とは何かについて考える。	2		・住生活と自然環境、社会環境との関連を考え、心地良い住まいについて提案し、まとめようとしている。			

## 高等学校家庭基礎「消費生活」指導計画 精選後

資料1-3

内容	題材	学習のねらい	時間の 目安	評価規準			学習項目 取消線のあるものは、定着率の高い学習項目	
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能		知識・理解
消費生活	1 経済の仕組みと家計	家計の循環について知る。	1				<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭経済と国民経済の関わりや家計管理の重要性について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給与</li> <li>・家計の収支</li> <li>・国民経済の流れ</li> </ul>
	2 消費行動と意思決定	消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを知る。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費行動における意思決定の重要性について考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費における問題について主体的に考え、適切な判断をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活に関する情報を収集、整理することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費行動における意思決定の重要性について知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレジット</li> <li>・ローン</li> <li>・消費者信用</li> <li>・多重債務</li> <li>・自己破産</li> <li>・契約の仕組み</li> <li>・消費者契約法</li> <li>・クーリング・オフ</li> <li>・特定継続的役務提供</li> <li>・PL法</li> <li>・消費者被害</li> <li>・悪質商法</li> <li>・架空請求</li> <li>・国民生活センター</li> <li>・消費者基本法</li> <li>・携帯・ネットトラブル</li> </ul>

## 高等学校家庭基礎学習指導案「食事と健康」

- 1 題 材 食生活をつくる。
- 2 題材設定の理由 現在の食生活を振り返らせ、将来へと続く家族の健康な身体づくりのために、栄養と食事、食品と調理、食生活の安全と衛生、環境に配慮した食生活についての知識と技術を習得させたい。
- 3 題材の指導目標 ①各自の食生活を振り返る中で食生活の問題点を考え、家族の望ましい食事について理解し、将来に続く健康な身体づくりを考えることができる。  
②食品の栄養的特質を理解した上で、適した調理を行うことができる。  
③安全で衛生的な食生活について考えることができる。  
④環境との関わりから、持続可能な食生活について考えることができる。

## 4 評価規準及び具体例

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価規準	栄養、食品、調理、食品衛生などに関心をもって学習活動に取り組んでいる。	家族の食生活について課題を見出し、その解決を目指して、思考を深め適切に判断し、表現している。	家族の食生活を健康で安全に営むために必要な技術を身に付けている。	栄養、食品、調理、食品衛生などについて理解し、家族の食生活を健康で安全に営むために必要な知識を身に付けている。
学習活動における具体の評価規準	①食生活の改善・向上に努めようとしている。 ②食品表示に興味をもち、主体的で責任のある消費行動をとろうとしている。 ③グループで、協力して調理しようとしている。 ④自らの消費行動が社会や環境へどういった影響を与えているかに関心をもち、責任ある行動をとろうとしている。	①現在の食生活と食事の意義について考え、工夫している。 ②栄養と健康な食生活の関わりについて考え、工夫している。 ③食事摂取基準や食品群別摂取量を参考に、家族の献立を考え、工夫している。 ④効率のよい調理過程を考え、工夫している。 ⑤食品の購入から廃棄、環境との関わりなど、持続可能な食生活について考え、工夫している。	①食品成分表を生かして栄養計算をすることができる。 ②食に関わる情報を収集、整理することができる。 ③日常食を作ることができる。	①食事と健康の関わりについて理解している。 ②健康を維持するだけでなく、食文化の伝承や、家族の団らんなど、食事のもつ意味を理解している。 ③食品の調理上の特性を理解している。

## 5 指導計画（全16時間）

- (1) 食生活について考える・・・1時間  
 (2) 体に必要な栄養と食品・・・2時間  
 (3) 栄養・栄養素と食品・・・4時間  
 (4) 食生活の安全と衛生・・・1時間  
 (5) 食生活の設計・・・2時間  
 (6) 日常食の調理・・・3時間  
 (7) これからの食生活・・・3時間

下線部(4)(7)は「消費生活」と関連させた内容で本時展開例を作成した。

### 本時案①

- (1) 本時の題材 食生活の安全と衛生  
 (2) 本時の目標 食への安全性について理解し、問題意識を持つ。  
 (3) 本時の評価規準等

観 点	「十分満足できる」状況と判断する際の具体的な状況	「おおむね満足できる」状況	努力を要すると判断された生徒への具体的な手だて
食に関わる情報を収集、整理することができる。	広告などを的確に整理し、食品表示をきちんと読み取った上で、旬のものを選択することができる。	食品表示をきちんと読み取ることができる。	食品表示について、具体的な例を示して、説明する。
食品表示に興味をもち、主体的で責任のある消費行動をとろうとしている。	品質表示に目を向け、必要な情報を見極め、問題点がないか注意を払うことに関心を持っている。	食品選択において、品質表示を確認することに関心を持っている。	最近起こった食品偽装の問題を取り上げ、食品表示に対する厳しい態度をもつことを理解させる。また、食の安全に対する消費者意識の重要性を伝える。

### (4) 本時の展開例

学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法等
○本時の目標を知る。  ○食品選択について注意する点を知る。  ○食品の取り扱いについて考える。	○本時の内容を説明する。  ○生鮮食品・加工食品の選択のポイントを理解させ、広告に左右されない視点を身に付けさせる。 ・旬の利点、鮮度の見分け方について説明する。 ・品質表示の読み取り方について説明する。 ・ <b>食品添加物などの安全性やトレサビリティについて考えさせる。</b> <b>←「消費生活」と関連</b>  ○食中毒の種類と予防法について、 ・身近な例を提示し、理解しやすくする。 ・冷蔵庫の保存だけでなく、昔ながらの保存方法を知ること、先人の知恵と地域の食文化について考えさせる。	<b>【技術】</b> 食に関わる情報を収集、整理することができる。  <b>【関心・意欲・態度】</b> <b>食品表示に興味をもち、主体的で責任のある消費行動をとろうとしている。</b> ↑ 「消費生活」の観点で育てたい力 <b>生活問題に対する批判的能力</b>	ワークシート (別紙「食生活の安全と衛生」)  ワークシート (同上)

### 【参考】

○政府広報オンライン[http://www.gov-online.go.jp/featured/201106\\_02/contents/point.htm](http://www.gov-online.go.jp/featured/201106_02/contents/point.htm)

### (5) 中学校技術・家庭科(家庭分野)との系統性

- ① 中学校学習指導要領解説技術・家庭編において「食品の品質を見分け、用途に応じて選択できること」とあり、生鮮食品、加工食品の選択・表示に関わる学習を行っている。ただし、調理実習で用いる生鮮食品や身近な加工食品が対象である。また、安全性については、食品の表示について、消費者の権利と合わせて学習する。高等学校では、消費者の権利だけでなく消費者の責任についても理解させ、安全性を確保するために能動的に行動できる力を付けるようにする。
- ② 食中毒は、上記解説において「食品の保存方法と保存期間の関係について、食品の腐敗や食中毒の原因と関連付けて知ることができるようにする。」とあり、保存方法や保存期間を中心に学習する中で、触れられる。高等学校では「食の安全や衛生」において具体的に原因や予防方法などを扱い、より丁寧に指導する必要がある。

## 本時案②

(1) 本時の題材 これからの食生活 (1, 2/3限目)

(2) 本時の目標 食生活の変化や問題点を知り、環境との関わりや食糧自給率の問題を考える。

(3) 本時の評価規準等

観 点	「十分満足できる」状況と判断する際の具体的な状況	「おおむね満足できる」状況	努力を要すると判断された生徒への具体的な手だて
食品の購入から廃棄、環境との関わりなど、持続可能な食生活について考え、工夫している。	食生活を取り巻く状況について正しく認識し、問題点を挙げるができる。また、購入から廃棄において環境に配慮した具体的な行動を例示している。	食糧自給について問題点を正しく認識し、問題点を考え、今度どうしなければならぬかを話し合おうとしている。	問題となっていることを、身近な具体例を挙げることで、各自の生活と関連させて、説明を行う。

(4) 本時の展開例

学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法等
<p>○本時の目標を知る。</p> <p>○日本の食糧問題について考える。</p> <p>「食料の未来を確かなものにするためには(農林水産省)」のDVDの視聴 ←視聴覚教材の活用</p> <p>○自分の食生活を振り返り、グリーンコンシューマーとして今後の目指すところをまとめる。</p>	<p>○本時の内容を説明する。</p> <p>○食品ロス、フードバンクなど、食品を無駄なく大切に使うことについて、世界の食糧問題と併せて考えさせる。 また、<b>地産地消</b>や<b>スローフード</b>について、<b>フードマイレージ</b>を尺度として考えることで<b>環境負荷を減らす循環型社会の構築</b>について、<b>グリーンコンシューマー</b>として何をなすべきかを考えさせる。 ←「消費生活」と関連</p> <p>○周囲の人と協力し、自分自身ができることを考えさせる。</p>	<p><b>【思考・判断・表現】</b> <b>食品の購入から廃棄、環境との関わりなど、持続可能な食生活について考え、工夫している。</b></p> <p>↑ <b>「消費生活」の観点で育てたい力 生活問題に対する批判的能力</b></p>	<p>ワークシート (別紙「これからの食生活①」)</p>

### 【参考】

○農林水産省<http://www.maff.go.jp/j/grv2421/>

『食料の未来を確かなものにするためには』

○『モットイナイで地球は緑になる』ワンガリン・マータイ著 木楽舎出版

○消費者庁[http://www.caa.go.jp/adjustments/index\\_9.html](http://www.caa.go.jp/adjustments/index_9.html)

『食品ロス削減の啓発ソング』

『誰かの一食 (第10回ACジャパンCM学生賞) グランプリ受賞作品』

(5) 中学校技術・家庭科(家庭分野)との系統性

中学校学習指導要領解説技術・家庭編において「地域の食材を生かすなどの調理を通して、地域の食文化について理解すること。」とあり、食文化の学習と関連させながら、地産地消の推奨について学習する。さらに、教科書では食糧自給率についても触れられている。そこで、高等学校では、「社会的な問題とかかわる現代の食生活」について、日本における食糧問題について視野を広め、グローバルな視点で捉え、現状を正しく理解させることで、グリーンコンシューマーとして私たちができること、やらねばならないことについて考えさせる。

本時案③

- (1) 本時の題材 これからの食生活 (3/3限目)
- (2) 本時の目標 消費者市民社会の実現に向けて。
- (3) 本時の評価規準等

観 点	「十分満足できる」状況と判断する際の具体的な状況	「おおむね満足できる」状況	努力を要すると判断された生徒への具体的な手だて
自らの消費行動が社会や環境へどういった影響を与えているかに関心をもち、責任ある行動をとろうとしている。	フェアトレードをしなければならぬ現状を理解し、消費者市民社会を実現するために、責任ある消費行動をとろうとしている。	フェアトレード商品を購入することの意味を理解し、その商品について興味を示している。	輸入品の生産に関わる具体例を示し、特に学習者と同年齢以下の児童労働の実態に触れて説明する。

(4) 本時の展開例

学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法等
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の目標を知る。</li> <li>○ 商品購入について考える。</li> <li>○ フェアトレードについて考える。 ・ 谷川俊太郎「そのこ」児童労働のない未来へ ・ 3分でわかるフェアトレード (Fairtrade Label Japan) ← 視聴覚教材の活用</li> <li>○ 国内で行われているフェアトレードを知る。</li> <li>○ 身近にあるフェアトレード商品について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の内容を説明する。</li> <li>○ 購入決定ポイントを明確にさせる。 ← 「消費生活」と関連</li> <li>○ 前時と比較し、外国産に頼らざるをえない食品について、私たちの消費行動が世界とつながっていることを確認させる。 また、生産者の生活（児童労働など）や環境破壊（プランテーションによる森林伐採など）についても触れ、商品を選び購入することの重みを理解させる。 ← 「消費生活」と関連</li> <li>○ 東日本大震災の被災地における事業、福祉支援事業などの具体例などから、国内外に広がっていることを知らせる。 ← 「消費生活」と関連</li> <li>○ 日本のフェアトレード製品の普及の低さから、次の世代につなげていく責任ある消費について考えさせる。 ← 「消費生活」と関連</li> </ul>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b> 自らの消費行動が社会や環境へどういった影響を与えているかに関心をもち、責任ある行動をとろうとしている。</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>「消費生活」の観点で育てたい力 <b>生活問題解決のための実践的能力</b></p>	<p>ワークシート (別紙「これからの食生活②」)</p>

【参考】

- 谷川俊太郎「そのこ」児童労働のない未来へ  
<https://www.youtube.com/watch?v=2Iw-oAYD7T0>
- 子どもの権利条約
- 3分でわかるフェアトレード (Fairtrade Label Japan)  
<https://www.youtube.com/watch?v=2N1Asv0sP1Q>
- 内閣府「平成20年度版 国民生活白書」  
[http://www5.cao.go.jp/seikatsu/whitepaper/h20/01\\_honpen/html/08sh010202.html](http://www5.cao.go.jp/seikatsu/whitepaper/h20/01_honpen/html/08sh010202.html)

(5) 中学校技術・家庭科（家庭分野）との系統性

フェアトレードは、中学校の「食生活」において教科書では、取組の存在について知ることにとどまっている。これは、「消費生活」においても同様である。高等学校学習指導要領解説家庭編で「グローバル化、情報化などの社会変化や、それに伴う販売や流通の多様化、消費者と事業者の情報量の格差など、消費者問題発生の背景について考えさせる。」とあることから、高等学校では、安定した食糧供給の裏に隠されている開発途上国の現状を知り、消費者市民社会の構築を目指した責任ある行動をとれる力を身に付けるようにする。

# 食生活の安全と衛生

## 「1」食品の選択

### (1) 生鮮食品の選び方

	春	夏	旬とは
	冬	秋	

### (2) 加工食品の選び方

パッケージ	パッケージから読み取れたこと
-------	----------------

加工食品を選ぶ際に気を付けること
------------------

## 「2」食の安全性を保つために、消費者として気を付けることやなすべきことは何ですか。

--



## これからの食生活①

「1」日本の食糧自給率について

### 『食料の未来を確かなものにするためには（農林水産省）』を視聴して

カロリーベースで日本の食糧自給率は（ ）割である。これは先進国の中では最低である。食糧自給率が低下した背景は、私たちの食生活が、ご飯・魚・野菜中心から、肉・油を多く摂取するようになり、（ ）の消費が低下したことや、家畜を育てるための飼料やバイオ燃料の原料となる（ ）や大豆は外国から大量に輸入しているからである。

多くの食料を輸入する一方で、①手つかずや食べ残しの食品を大量廃棄している。その量は、世界の食糧援助の（ ）倍となっている。また、食料の輸入相手国（ ）は少数であるため、食料の供給基盤は脆弱である。そんな中、食料をめぐる世界の状況は以下のように変化し続けている。

- 1, 発展途上国の（ ）が増加している。
- 2, 中国などが経済発展から肉や油の消費が増え、そのエサの原料となる（ ）の需要が増加している。
- 3, エネルギー問題として、トウモロコシやサトウキビがバイオ燃料の原料として需要が高まり、食料用と取りあう。
- 4, ②地球温暖化によって生産状況の悪化が進んでいる。

このように世界の食糧問題が深刻化することが懸念される中で、安定的に食料を確保するには、消費者は自分自身の問題として食糧問題を捉え（ ）を見直す。食品事業者は、国産の食材・食料を提供し、それをわかりやすく消費者に伝える。農業者は、限りある農業資源を有効活用し、安全で質の高い農産物を提供するなどである。その結果、③国産農産物の需要が高まり、自給率が向上し、食料の安定供給につながる。

(1) 下線部①のように、本来食べられるにもかかわらず捨てることを「食品ロス」と言うが、自分の食生活を「食品ロス」の観点で見直してみよう。

現状

今後



(2) 下線部②は、食料の輸送距離である「フードマイレージ」と関連性が強い。以下のことについて考えてみよう。

日本はフードマイレージが世界第一位ということは？

フードマイレージを小さくするには？

(3) (2) を踏まえて、下線部③を高くするために、普段の消費行動でできる行動を以下の○の中に漢字を入れてみよう。



「2」グリーンコンシューマーな消費者を目指して、今日からできることを提案しよう。

あなたの生活をどう変える？

学校で取り組めることは？

## これからの食生活②

### 「1」フェアトレードとは



### 「2」商品選択について

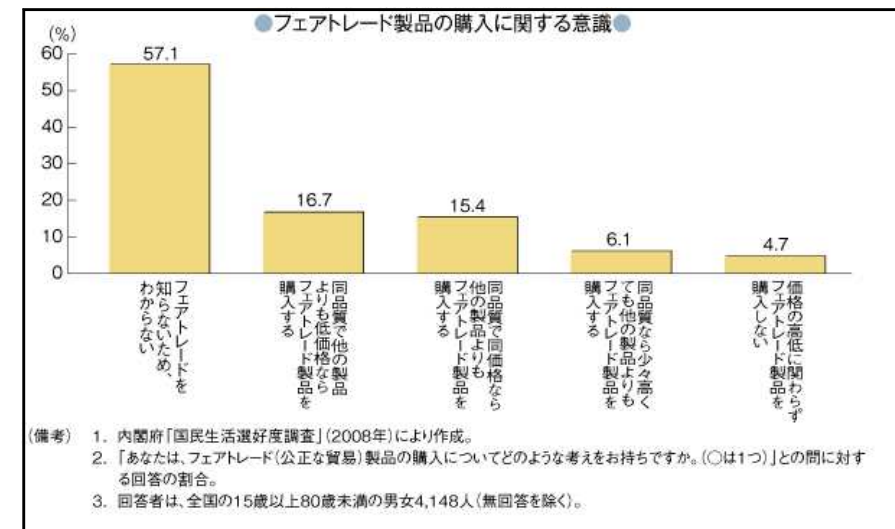
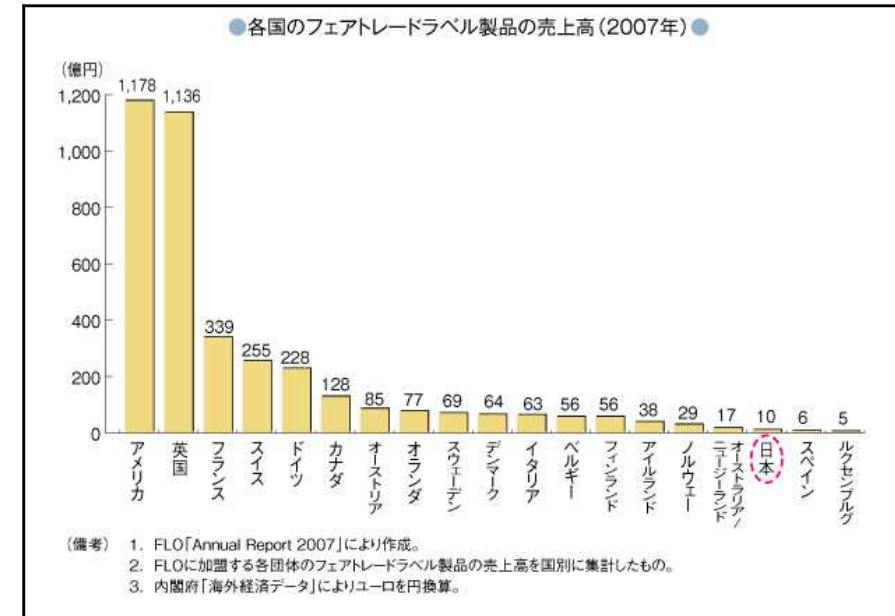
- (1) あなたは、どちらの商品を選びましたか？ ( )
- (2) 選んだ理由は何ですか？ ( )
- (3) 食品を選ぶ際に、あなたが重視する順番に下記のものを並べましょう。
- |           |       |        |      |     |         |
|-----------|-------|--------|------|-----|---------|
| 価格        | パッケージ | 量      | おいしさ | 原材料 | 消費・賞味期限 |
| フェアトレード製品 |       |        |      |     |         |
| 1位 ( )    |       | 2位 ( ) |      |     |         |
| 3位 ( )    |       | 4位 ( ) |      |     |         |
| 5位 ( )    |       | 6位 ( ) |      |     |         |
| 7位 ( )    |       |        |      |     |         |

### 「3」フェアトレードに関する映像を見て

- (1) 谷川俊太郎『そのこ』～児童労働のない世界へ～を視聴して感じたことを記入しましょう。

- (2) 3分でわかるフェアトレード (Fairtrade Label Japan) を視聴して、なぜ、「フェアトレード」をしなければならないか考えてみましょう。

### 「4」日本のフェアトレードの現状



### 「5」消費者として、どのような行動をとりたいと考えていますか？

## 高等学校家庭基礎学習指導案「青年期の自立と家族・家庭」「生涯の生活設計」

- 1 題 材 豊かに人生を生きる。
- 2 題材設定の理由 生涯発達の視点で、現在そして将来について、家庭生活の創造について考える機会を与えることで、各ライフステージの家族と社会に関わる課題に対応し、適切な意思決定や責任ある行動をとれるようにさせたい。
- 3 題材の指導目標
  - ①青年期の生き方について考え、自己実現に向けた課題について対応する力を身に付ける。
  - ②現代の家族の特徴について理解し、家族と社会との関わりについて関心をもつ。
  - ③家族・家庭の法律を理解し、ワークライフバランスの在り方を考える。

### 4 評価規準及び具体例

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価規準	人の一生や家族・家庭などに関心をもって学習活動に取り組んでいる。	様々な生活課題に対して思考を深め、責任ある行動をとれるよう適切に判断し、表現している。	生涯発達の視点で各ライフステージの課題を解決するために必要な情報を整理・収集することができる。	生涯発達の視点をもって人の一生を捉えるために必要な知識を身に付けている。
学習活動における具体の評価規準	<ol style="list-style-type: none"> <li>①生涯発達の考えに立ち、各ライフステージの特徴と課題に関心を持ち、青年期の課題に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>②個人のライフスタイルの在り方や家族・パートナーシップに関する問題、それを取りまく社会制度に関心を持ち、その充実・向上に取り組もうとしている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①多様化する人々の生き方、家族やパートナーシップの在り方について考え、まとめたり、発表したりしている。</li> <li>②多様な生き方を認め、積極的に家族・家庭と社会の関わりを考え、支え合って生きていくことについて適切に判断している。</li> <li>③人生における経済計画を立て、リスク管理について考え、工夫している。</li> <li>④自立の意味を理解し、自分の人生や進路について考えを深めたり、互いの考えを発表したりしている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①将来の生活を想定し、各ライフステージに合った情報を収集、整理することができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①青年期の課題や現代家族の特徴、家庭機能の変化、家庭生活と社会との関わりについて理解している。</li> <li>②生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。</li> </ol>

### 5 指導計画（全10時間）

- (1) 青年期の今をみつめる . . . . . 1 時間
- (2) 家族形態の変化 . . . . . 2 時間
- (3) 家族に関わる法律 . . . . . 2 時間
- (4) ライフコースの多様化とワークライフバランス . . . . . 2 時間
- (5) 生涯を見通した生き方 . . . . . 3 時間

下線部(4)(5)は「消費生活」と関連させた内容で本時展開例を作成した。

本時案①

- (1) 本時の題材 ライフコースの多様化とワークライフバランス
- (2) 本時の目標 多様な生き方を認め合う。  
リスク管理の重要性を理解する。

(3) 本時の評価規準等

観 点	「十分満足できる」状況と判断する際の具体的な状況	「おおむね満足できる」状況	努力を要すると判断された生徒への具体的な手だて
多様な生き方を認め、積極的に家族・家庭と社会の関わりについて考え、支え合って生きていくことについて適切に判断している。	ワークライフバランスの実現に向けて、個人、国・地方公共団体、企業がどう取り組むべきかを考え、支援体制の整備に向けて具体的に考えている。	性別役割分業の観点ではなく、ワークライフバランスのとれた生活設計を具体的に考えている。	ワーキングプアなどの具体例を示すことで、現代社会の問題点を身近なものから示す。
生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。	ワーキングプアの現状を知り、自立した生活者として生涯の収支について計画的な家計管理の重要性を理解している。	生涯の収支額について具体的に理解している。	働き方による収入の違いを理解させる。また、ライフイベントに関わる具体例を挙げ、その必要経費を示す。

(4) 本時の展開例

学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法等
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の目標を知る。</li> <li>○ 昔と現在の生き方の違いを考える。</li> <li>○ 現代人のライフスタイルのデータを読み解く。</li> <li>○ ライフスタイルとワークライフバランスについて考える。</li> <li>○ 生涯の経済活動について考える。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5つの自立</li> <li>・ 生涯賃金</li> <li>・ 生涯に必要なお金</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の内容を説明する。</li> <li>○ 時代の流れの中で、生活スタイルが変化していることに気付かせる。</li> <li>○ グラフからデータの変化について、読み取らせる。</li> <li>○ 性別役割分業やワーキングプアについて考え、ワークライフバランスの充実をはかることの必要性を理解させる。</li> <li>○ <b>家計の収入と支出について理解させる。リスク管理や経済計画の重要性を理解させる。</b> ←「消費生活」と関連</li> </ul>	<p>【思考・判断・表現】 多様な生き方を認め、積極的に家族・家庭と社会の関わりについて考え、支え合って生きていくことについて適切に判断している。</p> <p>【知識・理解】 生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。</p> <p style="text-align: center;">↑ 「消費生活」の観点で育てたい力 生活に関する 意思決定能力</p>	<p>ワークシート (別紙「ライフコースの多様化とワークライフバランス」)</p> <p>ワークシート (同上)</p>

(5) 中学校技術・家庭科(家庭分野)との系統性

- ① 中学校学習指導要領解説技術・家庭編では、「自分の成長と家族や家庭生活のかかわり」や「家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわり」について学習する中で、「将来の家庭生活や家族とのかかわりに期待がもてるようにする。」とあり、家族や地域との関わりについて重点が置かれている。一方、高等学校では、生涯発達の視点で、学習内容が展開されることに重点が変化し、各ライフステージの課題を達成しつつ発達するという生涯を見通した具体的な学習をすることになる。
- ② 中学校の「消費生活」では、消費活動に関する学習が中心となっている。そのため、生涯にわたる家計管理やリスク管理といった経済計画については、高等学校で初めて学習することになる。これは、上記のように高等学校では生涯を見通した生活について学ぶためである。高等学校学習指導要領解説家庭編では、さらに「将来にわたるリスクを想定して、不足の事態に備えた貯蓄や保険などの資金計画についても関心をもたせる」とあり、将来の生活における経済計画を立てさせるようにすることも必要である。

本時案②

- (1) 本時の題材 生涯を見通した生き方
- (2) 本時の目標 各ライフステージにおける生活課題を知り、将来の生活に展望をもつ。
- (3) 本時の評価規準等

観 点	「十分満足できる」状況と判断する際の具体的な状況	「おおむね満足できる」状況	努力を要すると判断された生徒への具体的な手だて
人生における経済計画を立て、リスク管理について考え、工夫している。	ライフコースに関わる経済計画が具体的で、それに伴うリスクについても具体的に考えている。	ライフイベントに関わる一般的なお金の概算を具体的に考えている。	ライフイベントに関わる収支について具体的な例を示す。
自立の意味を理解し、自分の人生や進路について考えを深めたり、互いの考えを発表したりしている。	互いのライフプランについて具体的に述べ、互いのプランの疑問点を話し合い、考えを深めている。	自分のライフプランをわかりやすく伝えようとしている。	人にわかるように伝えるためには、自分の意見をきちんとまとめる必要があることを伝える。

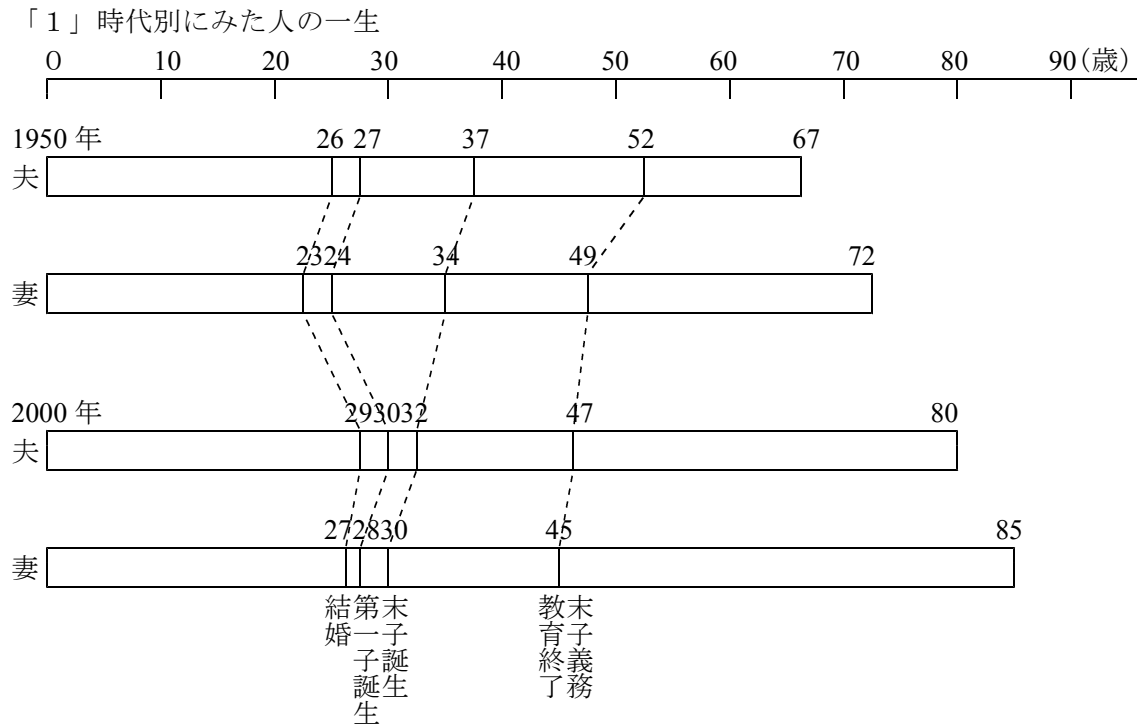
(4) 本時の展開例

学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法等
<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の目標を知る。</li> <li>○人生設計をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の内容を説明する。</li> <li>○各ライフステージの特徴と発達課題、家族のライフステージと生活課題を考えさせ、現在及び将来の生活を考えさせる。 ←「消費生活」と関連</li> </ul>	<p>【思考・判断・表現】人生における経済計画を立て、リスク管理について考え、工夫している。</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">「消費生活」の観点で育てたい力 生活に関する 意思決定能力</p>	ワークシート (別紙「生涯を見通した生き方」)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○互いの人生設計について、話し合いをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループになり、全員が意見を出せる環境を作る。また、互いのプランについて、魅力となる点や、不安に思う点に絞って意見を出させる。</li> </ul>	<p>【思考・判断・表現】自立の意味を理解し、自分の人生や進路について考えを深めたり、互いの考えを発表したりしている。</p>	ワークシート (同上)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○クラスメイトの意見を参考に人生設計の改善を行い、その上で、今何をなすべきかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な意見を受け止め、視野を広くもつことの大切さを伝える。</li> </ul>		

(5) 中学校技術・家庭科（家庭分野）との系統性

中学校学習指導要領解説技術・家庭編では「これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えること。」「将来の家庭生活や家族とのかかわりに期待を持つようにする。」とあり、家族の一員としてどのようなことができるのかを具体的に考えている。そこで、高等学校では、生涯発達の視点を大切にし、家庭の経営者という立場で考えさせ、自立した生活を営むためにも、目標をもって生活することの重要性を認識させる。また、高等学校学習指導要領解説家庭編に「生涯を見通した中で青年期をどのように生きるかについて具体的に考えさせる。」とあることから、時間軸に沿って各ライフステージの特徴と課題を理解させることも重要である。

# ライフコースの多様化とワークライフバランス



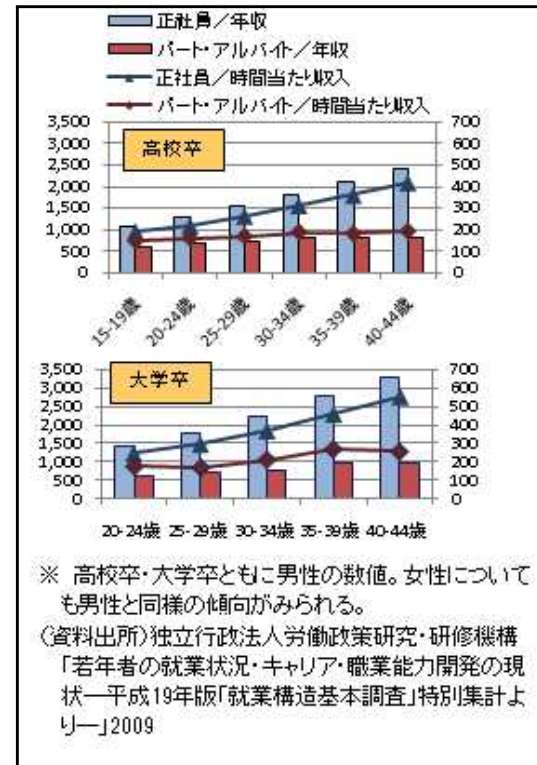
1950年と2000年を比較して、異なる点を挙げましょう。

「2」あなたは、将来、どのような働き方をしたいですか？

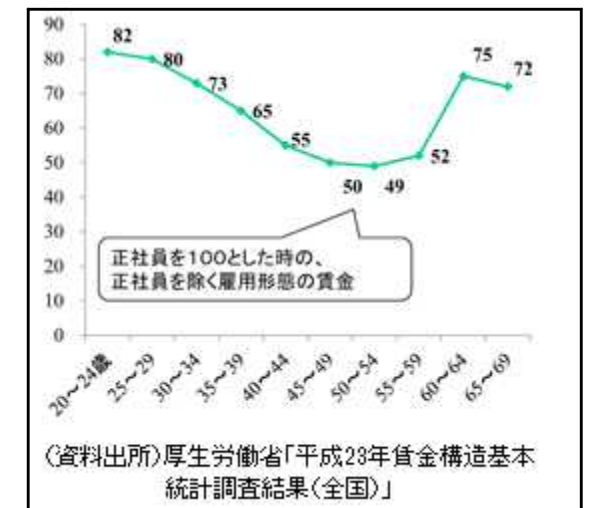
- 例
- ・したいことが見つかるまで、フリーターをする。
  - ・学校を卒業後はフルタイムで働くが、結婚して妊娠したら仕事をやめる。そして、子どもが中学生になったらパートタイムで働く。

【参考】 学校種別の学習費総額(文部科学省平成24年度データ)

区分	幼稚園		小学校		中学校		高等学校(全日制)	
	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立
学習費総額	230,100	487,427	305,807	1,422,357	450,340	1,295,156	386,439	966,816
公立を1とした私立の比率	1	2.1	1	4.7	1	2.9	1	2.5
うち学校教育費	131,624	340,464	55,197	822,467	131,534	997,526	230,837	722,212
構成比(%)	57.2	69.8	18.0	57.8	29.2	77.0	59.7	74.7
公立を1とした私立の比率	1	2.6	1	14.9	1	7.6	1	3.1
うち学校給食費	17,920	26,891	42,035	40,229	36,114	3,380	...	...
構成比(%)	7.8	5.5	13.7	2.8	8.0	0.3	...	...
公立を1とした私立の比率	1	1.5	1	1.0	1	0.1	...	...
うち学校外活動費	80,556	120,072	208,575	559,661	282,692	294,250	155,602	244,604
構成比(%)	35.0	24.6	68.2	39.3	62.8	22.7	40.3	25.3
公立を1とした私立の比率	1	1.5	1	2.7	1	1.0	1	1.6



※ 高校卒・大学卒ともに男性の数値。女性についても男性と同様の傾向がみられる。  
 (資料出所)独立行政法人労働政策研究・研修機構「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状—平成19年版「就業構造基本調査」特別集計より—」2009



賃金格差 (厚生労働省平成26年データ)

学歴と賃金上昇 (厚生労働省平成26年データ)

# 生涯を見通した生き方

「1」 高校を卒業した後の人生設計をしましょう。また、20年後の平日の1日はどのように過ごしているでしょうか。家族構成もあわせて考えましょう。

年齢	ライフイベント (必要なお金)																				
18歳	<p>●あなたの20年後の家族を○で囲みましょう</p> <table border="1"> <tr> <td>父</td> <td>母</td> <td>義父</td> <td>義母</td> </tr> <tr> <td>祖父</td> <td>祖母</td> <td>義祖父</td> <td>義祖母</td> </tr> <tr> <td>息子 ( ) 人</td> <td>娘 ( ) 人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ペット ( )</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 ( )</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>●20年後のあなたの1日</p>	父	母	義父	義母	祖父	祖母	義祖父	義祖母	息子 ( ) 人	娘 ( ) 人			ペット ( )				その他 ( )			
父		母	義父	義母																	
祖父		祖母	義祖父	義祖母																	
息子 ( ) 人		娘 ( ) 人																			
ペット ( )																					
その他 ( )																					
20歳																					
30歳																					
40歳																					
50歳																					
60歳																					
70歳																					
80歳																					
90歳																					

★あなたの考えた人生設計について以下の点について書きましょう。

[特徴] \_\_\_\_\_

[おすすめ] \_\_\_\_\_

[不安] \_\_\_\_\_

「2」 話し合いや、授業をうけて、人生においてどういったことを大切にしたいと思いましたが？簡条書きで挙げてみましょう。

• \_\_\_\_\_

• \_\_\_\_\_

• \_\_\_\_\_

「3」 あなたの考えた人生設計を実現するために、高校生の間にしておかなければならないことは何ですか。簡条書きで挙げてみましょう。

• \_\_\_\_\_

• \_\_\_\_\_

• \_\_\_\_\_

## 高等学校家庭基礎学習指導案「被服管理と着装」

1 題 材 衣生活をつくる。

2 題材設定の理由 生徒にとって被服は、自分をいかに素敵に見せるかがポイントである。それ以外の被服の管理や機能については、あまり関心がない。しかし、資源の有効利用の観点から考えると、被服計画は大切なことである。また、社会的慣習に適応した着装が社会生活を送る上では重要となる。こういったファッション以外のことにも生徒の視野を広め、流行に左右されず、衣生活を主体的に営むことができるようにしたい。

3 題材の指導目標 ①被服の機能と衣文化の背景を理解し、着装の工夫を探ることができる。  
 ②被服材料の特徴を理解し、取扱い絵表示などの意味がわかる。  
 ③被服に適した洗濯や管理ができる。  
 ④環境負荷の少ない購入・消費について問題意識をもつことができる。

### 4 評価規準及び具体例

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価規準	着装、被服材料、被服管理などの衣生活の科学と文化に関心をもっている。	衣生活について、問題点・課題を見だし、その解決を目指して、思考を深め、適切に判断し表現している。	主体的に衣生活を管理する技術がある。	安全と環境に配慮した衣生活を営むために必要な知識を身に付けている。
学習活動における具体の評価規準	①衛生的な衣生活について考えようとしている。 ②次世代に引き継げる衣生活のあり方について、自分たちのできることに興味をもって取り組もうとしている。	①着心地や性能について考え、目的に合った被服を選択している。 ②衣服の購入から廃棄までを、環境と関連させて考え、工夫している。	①TPOに合わせた被服を着用することができる。	①被服を着る意味や被服の役割について理解している。 ②被服の表示から、素材やサイズ、品質を読み取る知識を身に付けている。

### 5 指導計画（全8時間）

- (1)被服の役割・・・1時間
- (2)被服の購入・・・3時間
- (3)被服の管理・・・2時間
- (4)衣生活と環境・・・2時間

下線部(4)は「消費生活」と関連させた内容で本時展開例を作成した。



本時案

- (1) 本時の題材 衣生活と環境
- (2) 本時の目標 環境負荷の少ない購入・消費について問題意識を持つ。
- (3) 本時の評価規準等

観 点	「十分満足できる」状況と判断する際の具体的な状況	「おおむね満足できる」状況	努力を要すると判断された生徒への具体的な手だて
衣服の購入から廃棄までを、環境と関連させて考え、工夫している。	自分たちの被服の消費行動が、世界の環境破壊と関連していることを理解した上で、今後どういった消費行動を取ることが望ましいか考えるようとしている。	自分たちの被服の消費行動について、問題点について具体的に考えている。	参考資料を読み取れるよう説明を加える。
次世代に引き継げる衣生活のあり方について、自分たちのできることに興味をもって取り組もうとしている。	廃棄衣料の問題や環境保全に対して、自分たちに何ができるか関心をもち、また、環境問題に積極的に取り組んでいる身近な団体について調べようとしている。	衣服と資源の関係について興味をもち、自分たちの衣生活の改善点について考えようとしている。	私たちの衣料に関わる問題を具体的に例示し、世界の貧困との関わりについても説明する。

(4) 本時の展開例

学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法等
<p>○本時の目標を知る。</p> <p>○衣服購入における安さや容易さの裏側にあるもの考える。</p> <p>・One Year After - ラナ・プラザ崩壊事故から1年 ←視聴覚教材の活用</p> <p>○衣服に関わる企業の社会的活動について考える。</p> <p>・クローズアップ現代「グローバル企業の責任はどこに～海外で高まる人権リスク～」 ←視聴覚教材の活用</p>	<p>○本時の内容を説明する。</p> <p>○衣服の生産に関わって、環境への影響を考えさせる。 「youthXchange」(UNESCO及びUNEP監修)を読んで。縫製現場の状況を理解させ、女性労働について考えさせる。 5Rの考え方や循環型社会の考え方に触れる。 ←「消費生活」と関連</p> <p>○企業のあり方を非難するのではなく、共生していくという意味での消費者の責任を考えさせる。 ←「消費生活」と関連</p>	<p>【思考・判断・表現】衣服の購入から廃棄までを、環境と関連させて考え、工夫している。</p> <p>↑</p> <p>「消費生活」の観点で育てたい力 生活に関する意思決定能力</p> <p>【関心・意欲・態度】次世代に引き継げる衣生活のあり方について、自分たちのできることに興味をもって取り組もうとしている。</p> <p>↑</p> <p>「消費生活」の観点で育てたい力 生活問題解決のための実践的能力</p>	<p>ワークシート (別紙「衣生活と環境」)</p> <p>ワークシート (同上)</p>

【参考】

- One Year After - ラナ・プラザ崩壊事故から1年 (people tree)  
<http://www.youtube.com/watch?v=J0ZchRRaw5g>
- クローズアップ現代「グローバル企業の責任はどこに～海外で高まる人権リスク～」  
[http://www.nhk.or.jp/gendai/kiroku/detail02\\_3460\\_all.html](http://www.nhk.or.jp/gendai/kiroku/detail02_3460_all.html)

(5) 中学校技術・家庭科(家庭分野)との系統性

中学校学習指導要領解説技術・家庭編の「C 衣生活・住生活の自立」において、環境にかかわるものとして「衣服の入手については、購入するだけでなく、環境に配慮する視点から、他の人から譲り受けたり、リフォームしたりする方法があることにも触れる。」や、「身近な環境に配慮した水や洗剤の適切な使い方を考えさせるなど、循環型社会への理解が深まるようにする。」とされている。また、ファストファッションについては、成長期であることを踏まえ、教科書では3Rと関連させて扱っている。そこで、高等学校では、高等学校学習指導要領解説家庭編に「資源の有効利用の観点」とあるように、私たちの衣生活と環境問題や資源・エネルギー問題との関わりについて取り上げ、環境負荷を低減させ、進んで地球環境保全に貢献できるライフスタイルを実践できるようにする。

## 衣生活と環境

「1」 次の状況の時、あなたなら A、B、C のどれを選択しますか？

① ウインドショッピングをしていると、今年流行の服を見つけました。自分のお小遣いで購入できる範囲の金額です。

A：買う  
B：買わない

② まだまだ着られる状態ですが、形が古くなった服があります。

A：着続ける  
B：リサイクルに出す  
C：廃棄する

「2」 「1」のそれぞれの選択において、別紙を読んで、環境との関わりでどういったことが起こると予想されるか、考えましょう。

① A

① B

② A

② B

② C

「3」 普段購入しているブランドの社会的活動について調べてみよう。社会的活動をしている場合はさらに頑張って欲しい活動内容を、していない場合はして欲しい活動内容を提案しよう。

〔活動内容〕

「4」 環境問題やフェアトレードなどに関する活動をしている企業や団体について調べてみよう。

〔活動内容〕

「5」 もし、あなたが発展途上国に生産工場をもっている会社の社長だとしたら、その工場の労働条件として、どういったことを取り入れたいと考えますか。

## 『youthXchange』（UNESCO 及び UNEP 監修）より抜粋

ファッションは常に変化を遂げています。そのスピードは、言語や思想など人間活動の他の分野よりも早いのが特徴です。ファッション界の早いペースは、西洋社会の好ましくない側面を表しています。ファッションは、時に天然資源を浪費し、必要以上のものを人々に買わせることにつながっているのです。特に若者は次から次へと変わりゆく様々なファッションを楽しみます。新しく面白いものは何でも経験したいという彼らの欲望を、ファッションは満たしているとも言えます。

グローバル化(国や地域の枠組を超えて、地球規模で社会が結びつくこと)と情報メディア(インターネットや映画、また雑誌や音楽)が送り出す世界共通のイメージは、ファッションの広がりや強さを後押しします。グローバル化とメディアは、大手の企業が自社のブランド名を大々的に宣伝する役割を担うことがあります。これは特定の生活様式やファッションが、世界中どこでも一般化することになります。その結果、若者は世界中のどこにいても同じような服を着て、同じようなものを食べ、同じような言動をしているように見受けられます。一方で、グローバル化によって、異なる国に住む人々の服や生活習慣を知ることができます。自分たちの着る服がどこで生産されたかを知りたい、という好奇心もかき立てます。

あなたが着ている服は、それを作った人とあなたとを結びつけています。アパレル産業は、西欧と北米以外の地域で集中的に展開されています。製作に携わる労働者は、健康や安全に関して芳しくない環境で働かされている場合があります。そのうちの90%は女性で、工場や自宅で働いています。多くの女性は10代で、中には児童もいます。賃金は安く、労働時間が長いところもあります。

繊維業界が扱っている繊維はウール、シルク、リネン、綿、麻などの自然繊維、または、石油化学製品で作られた合成繊維など人工的な繊維です。私たちの着ているほとんどの服には、ポリエステル、エラストン、ライクラといった弾力性がある繊維が含まれています。安く、扱いやすい繊維なため「魔法の糸」と呼ばれています。しかし製造過程で公害をもたらす可能性があり、リサイクルするのも容易ではありません。ナイロンは完全に自然に還るまでに30~40年かかります。綿などの自然繊維も、無条件で環境に優しいとは言えません。綿栽培のために耕されている農地は世界の3%ですが、使用されている殺虫剤は、世界のほぼ4分の1、除草剤は10%にあたります。

そこで環境への被害を抑えて栽培された素材で使われた生地が登場し、注目されています。オーガニックコットン(有機綿)やオーガニックウール(有機の羊毛)は、人工的な薬品や殺虫剤を使用していません。竹や麻などの耐寒性があり成長が早い植物も、殺虫剤や化学肥料の使用を最小限にとどめて栽培されています。有機綿を使用している服のブランドは、世界中で増えています。アメリカでは2001年~2005年の間で、オーガニックコットンの使用量が年間35%から55%に増えました。しかしオーガニックコットンと認定されているものは、今のところ全生産量の1%です。有機の食肉を得る時と同じように、化学物質を与えずに羊を飼育し、オーガニックのウール(有機羊毛)も生産されています。これは化学物質から殺虫剤に至るまで、全ての有害物質を回避している素材として、注目されています。

また、トウモロコシや大豆から製造されるバイオポリマーなどの新しい素材も登場しています。またインジオは、米国のカーギルダウ社が開発した植物由来の繊維で、トウモロコシの糖分が原料です。この素材はイタリアで活躍するデザイナーのディーゼルやヴェルサーチスポーツといったブランドが扱ったことで、ファッション界で注目されるようになりました。しかし、現状では、環境に配慮した服を手に入れる上での障害はたくさんあります。糸や生地を入手すること自体が困難なため、企業は生地を自前で開発するしかありません。価格も課題の一つです。オーガニックコットンの価格は品質や生産地によって異なるものの、通常、従来の綿より高くなります。

また、繊維産業とアパレル産業では、様々な原材料が使用され、採用される技術も多種多様です。服を作り上げるまで通常必要とされる6つの行程で、環境に与える影響も異なります。糸を紡いだり、織ったり、加工したりする段階では大気を汚染します。染めたり、プリントをしたりする段階では大量の水と化学薬品を使用します。薬品は揮発性のある物質を空気中に放出し、私たちの健康に悪影響を及ぼします。

「Tシャツは、本当に自然に優しいの?」

ファッションはかっこよくて、魅力的で、楽しいものかもしれませんが。しかし服や生地を作るために環境を傷つけている可能性がある、と環境活動家は警告しています。

例えば綿を見てみましょう。綿は世界中の至る地域で栽培されている農作物で、世界で生産される生地のおよそ50%近くを供給しています。綿には一般的に「自然派」というイメージがあり、環境に優しい素材と受けとめられています。しかし現実はどうでしょう。Tシャツ1枚を作るために、450gの綿が必要ですが、それだけの綿を栽培して収穫するためには大気、水、土壌に影響を与える場合もあります。それに加えて綿栽培に関わる人たちの健康も懸念されます。服を作る際に発生する問題は、農場だけにとどまりません。綿を服に仕立て上げる各行程で、多くの化学物質が使われている場合もあります。シリコン製のワックス、石油製の研磨剤、柔軟剤、重金属、抑制剤、アンモニア、ホルムアルデヒドなど挙げたらきりがありません。農家が繊維を保護するために使う殺虫剤は、生物の多様性に影響を与えます。また他の農作物をも汚染して、私たちの食べ物に混ざってしまうこともあります。繊維に色をつける化学物質のなかには、環境と私たちの健康の両方にとって良くないものもあります。

私たちが捨てる古着は最終的にごみの埋め立て地に持って行かれますが、埋め立て地は、ものすごい勢いでふくれあがっています。古着のほとんどがリサイクルできるものですが、現状ではそのまま捨てられています。

## 高等学校家庭基礎学習指導案「住居と住環境」

- 1 題 材 住生活をつくる。
- 2 題材設定の理由 高校生にとって、住生活は受動的なものである。しかし、住居は生活を行う基盤であることから、家族が安全で快適に暮らすための機能を理解し、環境に配慮した住生活を営む力を習得させることで、将来に向けて能動的な関わりをもたせたい。
- 3 題材の指導目標 ①家族の生活と各ライフステージに応じた住居および住環境について、基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。  
②安全で環境に配慮した住生活を理解し、地域との関わりについて今後の課題を探ることができる。

### 4 評価規準及び具体例

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価規準	よりよい住まいと住み方について考え、安全で快適な住環境に関心をもっている。	住まいとその地域について、課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現している。	健康で安全な住空間の計画を立てるために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	安全で環境に配慮した住環境や現在の住生活の課題を認識し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。
学習活動における具体の評価規準	①先人の知恵を生かした快適な住生活や、生き方との関わりについて考えようとしている。 ②住生活を安全で快適なものにしようとしている。	①健康で安全な住環境について考えを深め、ライフステージ別の問題点を考え、まとめようとしている。 ②住選択について、ライフスタイルとの関わりを考え、適切な判断をしている。 ③住生活と自然環境、社会環境との関連を考え、心地良い住まいについて提案し、まとめようとしている。	①住人に生活を配慮した住設計ができる。	①住環境を整備するために必要な平面図を読み取る知識を身に付けている。 ②家計管理の大切さを理解し、消費行動における適切な意思決定を行うための知識を身に付けている。 ③グリーンコンシューマーの視点から、住環境や住生活の課題を認識し、それに対応する知識を身に付けている。

### 5 指導計画（全11時間）

- (1)心地良い住まい・・・・・・・・・・ 1時間  
 (2)住まいの間取り・・・・・・・・・・ 2時間  
 (3)健康で安全な住まい・・・・・・・・ 2時間  
(4)住生活の計画・・・・・・・・・・ 2時間  
 (5)環境に配慮した住まい・住み方・・・ 2時間  
 (6)これからの住生活・・・・・・・・・・ 2時間

下線部(4)は「消費生活」と関連させた内容で本時展開例を作成した。

## 本時案

- (1) 本時の題材 住生活の計画  
 (2) 本時の目標 住まい選択と家計計画について考える。  
 (3) 本時の評価規準等

観 点	「十分満足できる」状況と判断する際の具体的な状況	「おおむね満足できる」状況	努力を要すると判断された生徒への具体的な手だて
住選択について、ライフスタイルとの関わりを考え、適切な判断をしている。	各ライフステージに合わせて変更できる住設計を具体的に考えている。	ライフステージに応じた間取りを考えている。	多くの平面図例を提示し、そこから具体的な空間をイメージさせ、それらを参考にさせる。
家計管理の大切さを理解し、消費行動における適切な意思決定を行うための知識を身に付けている。	将来に向けての貯蓄など、リスク管理を含めた収支管理の必要性を理解している。	一人暮らしにおける平均的な収支を知り、計画的な消費行動の大切さを理解している。	自己破産などの具体例を示し、自己管理の大切さを伝える。

### (4) 本時の展開例

学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法等
○本時の目標を知る。	○本時の内容を説明する。		
○ライフステージ・家族構成と住居のあり方について考える。	○ライフステージ住欲求が違うことから、その時々に応じた工夫が必要であることを考えさせる。	【思考・判断・表現】 住選択について、ライフスタイルとの関わりを考え、適切な判断をしている。	ワークシート (別紙「住生活の計画」)
○一人暮らしの住居を借りるポイントをつかむ。	○住居において、大切にしたいポイントを挙げさせる。 物件情報が何を表しているか理解させる。 紙面からでは分からない情報に気付かせる。		
○一人暮らしについて住居費を含めた生活費について考える。	○家計の収支について理解させるために、一般的な支出額と高卒・大卒初任給の平均額を提示し、計画的な支出について消費者信用など、多重債務を含めて考えさせる。 ←「消費生活」と関連		
		【理解・知識】 家計管理の大切さを理解し、消費行動における適切な意思決定を行うための知識を身に付けている。 ↑ 「消費生活」の観点で育てたい力 生活に関する 意思決定能力	ワークシート (同上)

#### 【参考】

- ・総務省統計局家計調査（家計収支編）調査結果  
<http://www.stat.go.jp/data/kakei/2.htm>

### (5) 中学校技術・家庭科（家庭分野）との系統性

- ① 中学校学習指導要領解説技術・家庭編では「家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知ること」「家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できること」とあり、家族が安全で快適に過ごすための住まいについて、必要な空間や、空間の使い方について学習をしている。この点をおさえ、高等学校では、家族構成やライフステージの変化に合わせた住居の条件について考えさせたり、障害者や高齢者に配慮した住まいについて考えさせる。
- ② 上記解説では「中学生の身近な消費行動を振り返ることを通して、家庭生活における消費の重要性に気付き」とあり、中学生の支出にかかわる消費行動について学習する。一方高等学校では、収入を含めた消費生活全般を学習することから、経済管理についてはリスク管理を含め深まりが出る。支出に関する各項目（例えば住居費）については、初めて学習するため、身近なフリーペーパーなどを活用することで具体性をもたせる必要がある。

## 住生活の計画

「1」 一生涯住むことを念頭に置き、人生の各段階において、住みよい住まいにはどういった条件が必要ですか。また、そのためにはどのような部屋が必要と思いますか。

ライフ ステージ	住宅に求めるもの	必要な部屋	間取り (LDK)
独身期			
新婚期			
育児期			
教育期			
子ども 独立期			
子ども独立 後の時期			

「2」 以下の賃貸物件情報について右上の質問に答えましょう。

(1) 賃貸物件資料に書かれている情報を、すべて記入しましょう。

(2) この物件に住むとしたら(1)以外に知りたい情報を、すべて記入しましょう。

「3」 学生生活を終え、フルタイムで働くことになりました。保護者の元を離れ、一人暮らしをすることになりました。月々の消費支出はいくらぐらいになると思いますか。また、その際の可処分所得はいくらを想定していますか。下の空欄に当てはまる数字を記入しましょう。

項 目	1月あたりの支出
食料	
住居	
光熱・水道	
家具・家事用品	
被服・履き物	
保健医療	
交通・通信	
教育	
教養娯楽	
その他	
合計	

可処分所得	
-------	--

可処分所得ー合計	
----------	--

家計の収支について気付いたことを記入しましょう。